

# 安慶田・照屋の わらべ歌



## あいさつ

沖縄県を含む琉球列島では、そのユニークな歴史の歩みに従って独自の文化が育まれてきました。こどもたちも日々の暮らしの中で、遊びを通して伝統的な生活文化を学んできました。高齢の世代の方が覚えていて口ずさむわらべ歌には、そうした伝統的な暮らしの様子が生き生きと映しとられており、現代にもその文化の豊かさを伝えてくれます。

伝統的な生活もその文化様式も刻々と遠ざかり、こどもたちの口ずさむ歌もまた、かつてのわらべ歌とは大きく異なっています。しかしながら、歌が人々の楽しみや慰めとなり、心のよりどころを与えてくれる点については今も昔も変わりありません。

沖縄市教育委員会では1988年から、貴重な文化であるわらべ歌を記録保存するため、市内の明治30年代から昭和初期生まれの高齢者をたずねて、わらべ歌を実際に歌ってもらう調査を実施しています。本報告書はそのなかから、沖縄市安慶田および照屋での調査の成果を取録したものです。

本報告書に掲載したわらべ歌が、郷土の文化を深く知る手がかりとしてばかりでなく、伝統的な文化や生活様式から隔たりつつある現代のこどもたちが沖縄独自の音楽や言葉に触れ、伝統文化に親しむきっかけとなれば幸いです。

なお、本報告書の作成にあたっては、聞き取り調査にはじまり掲載歌の選定や採譜にいたるまで、民族音楽学をご専門とされる比嘉悦子先生のお力添えと、調査にご協力いただいた歌唱者はじめ地域の関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

2021（令和3）年3月

沖縄市教育委員会  
教育長 比嘉 良憲

## はじめに

### I 「安慶田・照屋のわらべ歌」について

- (1) 「安慶田・照屋のわらべ歌」は沖縄市安慶田と照屋で採集されたわらべ歌の中から代表的な歌を34曲選んで掲載しました。
- (2) 歌の選定においては、二地域のバランスを考慮しつつ、旋律のより確実な歌、そして多くの人々、特に次代を担うこどもたちに歌い継いでほしい歌を優先して選択してあります。
- (3) 同じ歌でも、安慶田と照屋で旋律が多少変化して歌われる歌があり、その場合は、地域の特徴を出すために別曲として独立して掲載しました。
- (4) 歌唱者については、巻末の「安慶田・照屋のわらべ歌調査月日別成果表」に歌唱者名を掲載してありますので、参考にしてください。

### II 調査について

- (1) 沖縄市のわらべ歌調査は1988年に開始しました。
- (2) 調査は安慶田で1回、照屋で5回行ないました。また、宮里在住の照屋出身者の方の調査1回を本報告書で扱った資料に加えています。
- (3) 採集歌は安慶田で13歌、照屋で75歌、宮里在住の照屋出身者から19歌で、計107歌が採集されました。なお、採集された歌数にはわらべ歌だけではなく、新築祝いの唱え等の唱え3歌、綱引き行事の歌1歌、その他の民俗歌謡18歌が含まれています。歌唱を曲とせず、歌として数えたのは、旋律のない唱えや、歌詞のみの歌も採集歌として数えたためです。

### III 調査および編集担当

調査	比嘉悦子、宮城昭美、當真香
採譜	比嘉悦子
資料整理	宮城昭美、八田夕香
編集	比嘉悦子、八田夕香
イラスト	八田夕香

# 凡例

## I 歌詞と表記について

- (1) 掲載されたわらべ歌は、子守り歌、あやし歌、まりつき歌、手遊び歌、動物や虫の歌、自然・天体の歌、教訓歌、からかい歌、その他に分類した。
- (2) 表題は歌いだしの句をとってつけたものが多いが、動物や虫の歌は歌われる内容に添って編集者が表題をつけた。
- (3) 歌詞は漢字仮名まじり文で表記し、漢字には歌唱者のなまり音のままルビをふった。漢字が当てられる箇所には漢字を用いたが、無理な当て字は避けた。
- (4) はやし言葉、擬音についてのみカタカナで記した。例外として、動物名「チンチナー」については鳴き声の擬声語から来る名称としてカタカナ表記を用いた。
- (5) 歌詞の表記の中で、のばして歌う箇所は、長短の区別はせずに長音記号「ー」(引音)で示した。

## II 楽譜について

- (1) 楽譜は五線譜を基本としたが、沖縄独特な音程や歌唱法を表現するために特殊な記号を追加して用いた。

- 例)
- ・  は表記より低めの音程で歌われる。
  - ・  や  の表記は音程の定まらない唱えや掛け声をあらわす。
  - ・  は上から下へ声を落としていく唱法を示す。

- (2) 採譜は採録時の歌唱者の歌をできる限り忠実な形で再現できるように配慮したが、調律は一般の人々、特にこどもたちの歌いやすい高さにあわせて作譜した。
- (3) 民謡調査においては、歌唱者から歌にまつわるさまざまな生活状況を聞き取りながら歌を録音していくが、時には歌唱者が突然歌い出したり、歌の途中で中断し、次に続く歌詞を思い起こしてまた歌い出すこともしばあった。そのような歌は、他の類似曲を検討の上、採譜者によって加筆し、補足した。
- (4) 楽譜につけられたメトロノーム表記は、採録時の歌唱により近い速度を示したものである。歌唱者のほとんどが高齢者であるため、こども時代に歌われた歌が必ずしもその速度であったかどうかは断定できない。歌を再現する時は、楽譜に記された速度にとらわれないでもよいと思う。
- (5) 調号に (♭) (♯) とある ( ) のつけられたフラットやシャープは、実際はその曲に出てこない音につけられるものであるが、基音を求めるめやすとして表記した。

# 目次

あいさつ	1
はじめに	2
凡例	3
目次	4
《子守り歌》	
① 耳切り坊主の歌 (安慶田)	6
② うみーがうみーが (照屋)	7
③ あんまさみあんまー (照屋)	8
④ いったーあんまーまーかいが (照屋)	9
《あやし歌》	
⑤ 山原船が入っちょんどー (照屋)	10
⑥ イッシングー (照屋)	10
⑦ ミーミンメーミーミンメー (照屋)	11
《まりつき歌》	
⑧ ていーちえー手登根 (照屋)	12
⑨ ていーち手登根 (照屋)	13
⑩ ていーたーみーゆー (安慶田)	14
《手遊び歌》	
⑪ イッポーカッポー (安慶田)	15
⑫ イッポーカッポー (照屋)	15
⑬ イッチクタッチク (照屋)	16
⑭ ていーちがしー (照屋)	16
《動物や虫の歌》	
⑮ 牛もーもー (安慶田)	18
⑯ いさとぅー (照屋)	18
⑰ チンチナー (ひばり) の歌 (照屋)	19
⑱ 鳩の歌 (照屋)	19
⑲ ねずみの歌 (照屋)	20

《自然・天体の歌》

㉔	あーかーなーよー (照屋)	21
㉕	とーとーめーよー (照屋)	22
㉖	雨どーい田場主 (照屋)	23
㉗	親ぬ家かい行ちゃびーくとう (照屋)	23

《教訓歌》

㉘	親ぬ言るくとう (照屋)	24
㉙	北谷屋良村 (安慶田)	24

《からかい歌》

㉚	堂ぐわー屋敷ぬたんめー (照屋)	25
㉛	上ぐわー畑ぬたんめー (安慶田)	26
㉜	あまからちゅーる美らじゅりぐわー (照屋)	27
㉝	おならの歌 (照屋)	28
㉞	昔ぬ人よーふりむんやー (安慶田)	28

《その他》

㉟	まかいやねーらん (安慶田)	29
㊱	与那原かみーが (照屋)	30
㊲	御願ぬひーらー (照屋)	30
㊳	新築祝いの唱え (照屋)	31

安慶田・照屋わらべ歌調査月日別成果表	32
--------------------	----

① みみち ぼーじ 耳切り坊主の歌 (安慶田)

♩ 92



ヘイヨー ヘイヨー な くなよー みみちりぼ じぬ



たーちよんど いくたいいくたい たつ ちよーたが



みーちやいゆつ たい たつーちよんど な ちゆるわらべー



みみぐすぐす ヘイヨー〜ヨー なーくなよ

ヘイヨー ヘイヨー <sup>な</sup>泣くなよー

みみち ぼーじ 耳切り坊主ぬ <sup>た</sup>立っちよんどー

いくたい 幾人 いくたい 幾人 <sup>た</sup>立っちよーたが

みみち 三人 ちよん 四人 <sup>た</sup>立っちよんどー

<sup>な</sup>泣ちゆるわらべー <sup>みみ</sup>耳ぐすぐす

ヘイヨー ヘイヨー <sup>な</sup>泣くなよー

② うみーがうみーが (照屋)

♩ = 92



うみ がうみーが むい しかさわ かーーらや ぬ



ぬしなさや なちじん ばさーん くしゆんど



とーーんやまどん いかすんど ㄣ ヨーヘイヨー



な くなよ なーちゆるわらべー みみぐすぐす

うみーがうみーが <sup>む</sup>守いしかさわ

<sup>かーらやー ぬし</sup>瓦家ぬ主なさやー

<sup>なちじん ばさーん く</sup>今婦仁芭蕉衣ん 着しゆんどー

<sup>とー やまどん い</sup>唐ん 大和ん 行かすんどー

へいヨー へいヨー <sup>な</sup>泣くなよー

<sup>な</sup>泣ちゆるわらべー <sup>みみ</sup>耳ぐすぐす

③ あんまさまあんまー (照屋)

♩ 104



あんまさま あんま よー みーか からじぬやむ



み うーけ ぐわ たちくらな うーり どう



ましやゆる あんぐわーそーてい

あんまさま あんまーよー みーか<sup>からじ</sup>ー<sup>や</sup>むぬ 痛むみ

御<sup>うーり</sup>粥ぐわー 炊<sup>た</sup>ちくらな うりどう ましやゆる

あんぐわーそーてい



④ いったーあんまーまーかいが (照屋)

♩ 80



いったあんまかいが — ベーベぬくさかいが  
 いったすやまかいが — ももぬくさかいが



ベーベぬまさぐさやはーるぬわかみんな  
 ももぬまさぐさやはーるぬわかかんだ



あぐわーそーてい コッコイ  
 あぐわーそーてい コッコイ

いったーあんまー まーかいがー ベーベぬ <sup>くさか</sup>草刈いが

ベーベぬ <sup>くさ</sup>まさ草やー <sup>はるわか</sup>畑ぬ若みんな

あぐわーそーてい コッコイ

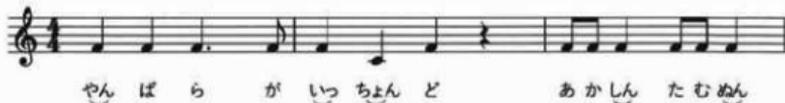
いったーすーや まーかいがー ももぬ <sup>くさか</sup>草刈いが

ももぬ <sup>くさ</sup>まさ草やー <sup>はるわか</sup>畑ぬ若かんだ

あぐわーそーてい コッコイ

⑤ <sup>やんばーらー</sup> 山原船が <sup>い</sup> 入っちょんどー (照屋)

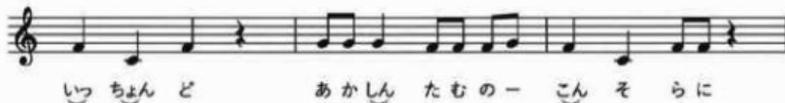
♩ = 126



<sup>やんばーらー</sup> 山原船が <sup>い</sup> 入っちょんどー あかしん <sup>たむ</sup> ぬん <sup>り</sup> 買んそーらに  
 じっしんぐー じっしんぐー

⑥ イッシングー (照屋)

♩ = 108



イッシングー イッシングー <sup>やんばーらー</sup> 山原船が <sup>い</sup> 入っちょんどー  
 あかしん <sup>たむ</sup> ぬんのー <sup>り</sup> 買んそーらに シクテーシク シクテーシク

⑦ ミーミンメーミーミンメー (照屋)

♩ 120



ミーミンメー ミーミンメー

ヒージントー ヒージントー

ワタブトゥメー ワタブトゥメー

いーゆぬみー たーくぬみー

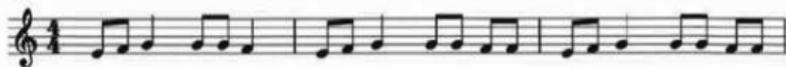
むしぐわぬみー んなじぬみー みーかー<sup>からじ</sup>髪ぬ

クチュクチュクチュ



⑧ ていでいくん <sup>ていでいくん</sup> 手登根 (照屋)

♩ 120



てい-ちえ ていでいくん た-ちえ たなばる み-ちえ みかずき



ゆ-ちえ ゆなばる いちちえ いちゆかじ む-ちえ むりはま



ななちえ ながはま や-ちえ やんばる くくぬちくん じゃん



くん じゃん なふあたび さびたん とうまい あらしぬさん たま



い さん たま い

ていでいくん <sup>ていでいくん</sup> 手登根 たなばる <sup>たなばる</sup> 棚原 みかずき <sup>みかずき</sup> 三日月

ゆなばる <sup>ゆなばる</sup> 与那原 いちゆかじ <sup>いちゆかじ</sup> 糸数 むりはま <sup>むりはま</sup> 盛浜

ながはま <sup>ながはま</sup> 長浜 やんばる <sup>やんばる</sup> 山原 くくぬちくん <sup>くくぬちくん</sup> 国頭

くんじゃん <sup>くんじゃん</sup> 那覇旅 <sup>なはたび</sup> さびたん

とうまい あらしぬ さんたまいー さんたまいー

⑨ てい<sup>ていどうくん</sup>ーち手登根 (照屋)

♩ 132



ゆ<sup>ゆ</sup>ーち<sup>ち</sup>ゆ<sup>ゆ</sup>る<sup>し</sup>し い<sup>い</sup>ち<sup>ち</sup>糸<sup>い</sup>敷<sup>し</sup> む<sup>む</sup>ーち<sup>ち</sup>盛<sup>さ</sup>島<sup>じま</sup>

な<sup>な</sup>ち<sup>ち</sup>長<sup>なが</sup>浜<sup>はま</sup> や<sup>や</sup>ーち<sup>ち</sup>山<sup>やま</sup>原<sup>はら</sup> く<sup>く</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>ち<sup>ち</sup>国<sup>くに</sup>頭<sup>かぶ</sup>

国<sup>くに</sup>頭<sup>かぶ</sup>船<sup>ふね</sup>か<sup>ら</sup> 那<sup>な</sup>覇<sup>は</sup>旅<sup>たび</sup>あ<sup>た</sup>れ<sup>ー</sup> 那<sup>な</sup>覇<sup>は</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>が<sup>が</sup>じ<sup>じ</sup>ゃ<sup>の</sup>ー 喰<sup>く</sup>ーて<sup>て</sup>い<sup>い</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>強<sup>ちやう</sup>ーさ<sup>さ</sup>ぬ

どう<sup>どう</sup>な<sup>な</sup>ーや<sup>や</sup>な<sup>な</sup>し<sup>し</sup>ぬ<sup>ぬ</sup> さ<sup>さ</sup>つ<sup>つ</sup>た<sup>た</sup>ま<sup>ま</sup>い<sup>い</sup>ん<sup>ん</sup>ど<sup>ど</sup>ー 海<sup>うみ</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>は<sup>は</sup>な<sup>な</sup>ふ<sup>ふ</sup>え<sup>え</sup>ー

⑩ ていーたーみーゆー (安慶田)

♩ = 108

てい た み ゆー いちむ なな や くぎ いっくわん

てい た か ち いち  
一 二 三 四 五

ち ち ち  
六 七 八 くぎ いっくわん

⑪ イッポーカッポー (安慶田)

♩ = 84



イッポカッポ うむぬふあや うぶち だきぬふあや



だかち すていちばぬ ーな かく うむいみそー



り

イッポーカッポー <sup>うむ ふあ</sup> 芋ぬ葉やうぶち <sup>だき ふあ</sup> だ 竹ぬ葉や抱かち

<sup>すていちばぬ</sup> 蘇鉄葉ぬなかく <sup>うむ</sup> 思いみそり

⑫ イッポーカッポー (照屋)

♩ = 126



イッポーカッポー じゅ にがにーから かみじゃんぐわーが



うふいなぬやまんじ やまししとらんじ うむぬふあやんぶち



だきぬふあやだかち すていちやぬなかく うみみそり

イッポーカッポー じゅーにがにーから かみじゃんぐわーが

うふいなぬ<sup>やま</sup>山んじ <sup>やまししとら</sup>山猪捕らんじ

<sup>うむ ふあ</sup> 芋ぬ葉やうぶち <sup>だき ふあ</sup> だ 竹ぬ葉や抱かち <sup>すていちや</sup> 蘇鉄ぬなかく <sup>う</sup> 思みみそり

⑬ イツクタッチク (照屋)

♩ 138



イツクタッチク じゅうにかにか ちくるくちんぼ ふるがエイ

いっちくたっちく じゅうにかにーかー

ちくるくちんぼー ふーるがエイ

⑭ ていーちがしー (照屋)

♩ 132



てい	ちがし	ー	てい	ぐわ	ね	れ	ー	てい	たっ	ちら										
た	ちがし	ー	たい	そ	わら	び	に	た	ちむ	ちー										
み	ちがし	ー	み	みじ	かん	ば	ち	は	なひ	かちー										
ゆ	ちがし	ー	ゆ	むぬ	わら	べ	ー	く	ちひ	ーちり										
い	ちがし	ー	い	ちよ	てい	ぬ	す	が	し	なん	てい	さん								
む	ちがし	ー	む	むぬ	し	ち	や	か	ら	ち	な	は	な	やー						
な	ちがし	ー	な	ふ	ぬ	わら	べ	ー	あ	か	わ	ら	ば	ー						
や	ちがし	ー	や	ん	ば	る	ふ	に	ぐ	わ	ー	ち	ゆ	ら	ふ	に	ぐ	わ	ー	
く	ぬ	ちがし	ー	く	ん	じ	ゃ	ん	う	さ	ぐ	え	ー	き	く	ぬ	は	ー	な	ー



とうがしー とつ くい かたみてい さかやんがい



さかやぬは めー うきとがや ならうきらん



さらむちんじ みーくふらし はなくふらし



(14) ていーちがしー歌詞)

ていーちがしー <sup>ていー</sup>手ぐわーねーれー <sup>ていー</sup>手たっちら  
 たーちがしー <sup>たいそー</sup>大将わらびに <sup>たちむ</sup>太刀持たち  
 みーちがしー みーみじかんぼち はなひかち  
 ゆーちがしー ゆむぬわらべー <sup>くち</sup>口ひっちり  
 いちちがしー <sup>い</sup>生ちちよていぬーすが <sup>し</sup>死なんでいさん  
 むーちがしー <sup>しちや</sup>むむぬ下から <sup>し</sup>ちなはなやー  
 ななちがしー <sup>なーよ</sup>那覇ぬわらべー あかわらばー  
 やーちがしー <sup>やんぼるぶに</sup>山原船ぐわー <sup>ちよ ぶに</sup>美ら船ぐわー  
 くくぬちがしー <sup>くんじやん</sup>国頭うさぐえー <sup>まく はな</sup>菊ぬ花  
 とーちがしー <sup>とっくい</sup>徳利かたみてい <sup>さかや</sup>酒屋んかい  
<sup>さかや</sup>酒屋ぬはーめー <sup>う</sup>起きとがやー <sup>う</sup>なら起きらん  
<sup>さむ</sup>皿持ちんじ <sup>み</sup>目くふあらし <sup>はな</sup>鼻くふあらし

⑮ 牛も一も一 (安慶田)

♩ = 116



うさもも たかいどや たぬみじえ



くんですなよ あさばん ゆばん にじらさりんどや

牛も一も一 田かいどーやー 田ぬ水えー くんてーすなよー

朝飯夕飯 にじらさりんどーやー

⑯ いさとう一 (照屋)

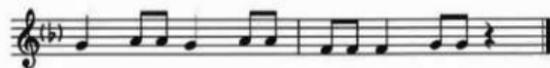
♩ = 132



いさとう いさとう ゆじなみ ゆうびぬゆばん



ぬからが むむぬふめどう かるる



だんじゅがだんじゅが くすひつちやる

いさとう一 いさとう一 ゆーじなみー ゆうびぬ夕飯 何食らが一

むーむぬ薬どう 食ーらーるー

だんじゅが だんじゅが 糞ひつちやる

⑪ チンチナー（ひばり）の歌（照屋）

♩ = 112



あんまよーいすーよーい た があていたが チンチナ があていたん



うりにん かなーに いぬぐとうあていれ チン チン びさぐわ



チン チン びさぐわ

あんまーよーい すーよーい

誰<sup>た</sup>が<sup>あ</sup>当<sup>あ</sup>ていたが チンチナー<sup>あ</sup>が<sup>あ</sup>当<sup>あ</sup>ていたん

うりにん<sup>か</sup>敵<sup>か</sup>に<sup>あ</sup> いぬぐとう<sup>あ</sup>当<sup>あ</sup>ていれー

チンチン<sup>び</sup>足<sup>び</sup>ぐわー チンチン<sup>び</sup>足<sup>び</sup>ぐわー

⑫ 鳩の歌（照屋）

♩ = 112



くとぅ くい くいー ぐわてい ちえー いら ちよ けー



な さ わ と う ら す さ

くとぅー くいー くいー 子<sup>こ</sup>ぐわーていー ちえー

いらー ちよー けー 産<sup>う</sup> さ わ と う ら す さ

⑬ ねずみの歌 (照屋)

♩ 116



んだまじいちんだ や ぬえん ちゅう はるぬえん ちゅう



にーびちすんていんどー みつ くわび ちやが ちよーちん ひさぎてい



いちゆる みち なか まやーがとうん じてい うちくわいねらん うちくわいねらん

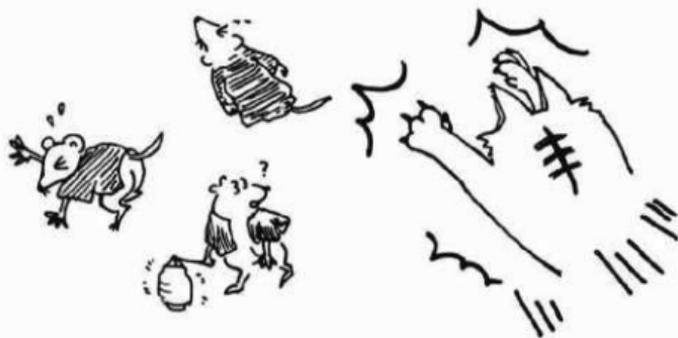
んだ まじ いちんだ

やーえんちゅう ばるえんちゅう にーびち  
家ぬ鼠とう 畑ぬ鼠とう 結婚すんていんどー

みつ くわびーちやーが 提灯ひさぎてい

い ちゆる 道中 猫が飛んじてい

うちくわいねーらん うちくわいねーらん



②0 あーかーなーよー (照屋)

♩ 132



あーかーなーよー あーかーなー まーかい<sup>い</sup>行ちゅが あーかーなー

にしぬ<sup>うみ</sup>海かい 蟹<sup>がにとう</sup>捕い<sup>が</sup> 蟹<sup>がに</sup>ぐわ<sup>とうい</sup>捕い<sup>が</sup>

蟹<sup>がに</sup>ぐわ<sup>とうい</sup>捕<sup>ぬ</sup>てい 何<sup>か</sup>すが

わーうむやーに 食<sup>か</sup>ますんてー

いやーうむやーや 誰<sup>た</sup>やが

十五<sup>じゅうご</sup>夜<sup>や</sup> 御<sup>ご</sup>月<sup>げつ</sup>



⑳ とーとーめーよー (照屋)

♩ 120



とーとーめーよー とーとーめー

まーかいめんしえが とーとーめー

<sup>うーじ</sup> 黍ぬみーかい <sup>かに</sup> 蟹ぐわー<sup>とさ</sup>捕いがる

わんねー<sup>い</sup>行ちゅんどー

へいヨーへい へいヨーへい

② <sup>あーみー</sup> 雨どーい <sup>たーばーすー</sup> 田場主 (照屋)

♩ 126



あ み ど ひゃ た ば ぬ す ど ひゃ た ば ぬ や ん じ



く わ き り よ ひ ゃ

<sup>あーみー</sup> 雨どーひゃー <sup>たーばー すー</sup> 田場ぬ主どーひゃー

<sup>たーばー やー</sup> 田場ぬ家んじ <sup>くわ</sup> 隠つきりよーひゃー

③ <sup>うや やー</sup> 親の家かい <sup>い</sup> 行ちゃびーくとう (照屋)

♩ 120



う や ぬ や か い い ち ゃ び ー く と う て い ら ぐ わ ん ぐ わ ん



て い い た ほ り

<sup>うや やー</sup> 親ぬ家かい <sup>い</sup> 行ちゃびーくとう

<sup>ていーら</sup> 太陽ぐわんぐわん <sup>てい</sup> 照ていたほり

②④ 親<sup>うや</sup>ぬ<sup>い</sup>言<sup>い</sup>る<sup>く</sup>と<sup>と</sup>う (照屋)

♩ = 132



うやぬ<sup>い</sup>る<sup>く</sup>と<sup>と</sup>う ち<sup>かん</sup> わ<sup>ら</sup>べ い<sup>ち</sup>ま<sup>ん</sup> う<sup>い</sup>う<sup>い</sup>



あ<sup>ん</sup>だ<sup>く</sup>わ<sup>ん</sup> け<sup>り</sup>け<sup>り</sup>

親<sup>うや</sup>ぬ<sup>い</sup>言<sup>い</sup>る<sup>く</sup>と<sup>と</sup>う 聞<sup>き</sup>か<sup>ん</sup>わ<sup>ら</sup>べ<sup>ー</sup>

糸<sup>いと</sup>満<sup>まん</sup>売<sup>う</sup>い<sup>売</sup>い<sup>い</sup> 油<sup>あんだ</sup>ぐ<sup>わ</sup>ん<sup>ん</sup>買<sup>い</sup>ー<sup>り</sup>買<sup>い</sup>ー<sup>り</sup>

②⑤ 北<sup>きた</sup>谷<sup>たに</sup>屋<sup>や</sup>良<sup>ら</sup>村<sup>むら</sup> (安慶田)

♩ = 108



ち<sup>や</sup>た<sup>ん</sup> や<sup>ら</sup>む<sup>ら</sup> り<sup>ん</sup>ど<sup>あ</sup>し<sup>や</sup>ぎ -- り<sup>ん</sup>ど<sup>あ</sup>し<sup>や</sup>ぎ



ひ<sup>ー</sup>た<sup>ー</sup> ち<sup>や</sup>ー<sup>が</sup> た<sup>い</sup>た<sup>つ</sup> ち<sup>よ</sup>ん さ<sup>ー</sup>さ<sup>う</sup>さ<sup>ぐ</sup>わ<sup>ん</sup>



か<sup>ま</sup>ぐ<sup>わ</sup>ん く<sup>く</sup>り り<sup>よ</sup>か<sup>ー</sup>ま<sup>や</sup>し<sup>な</sup>ー

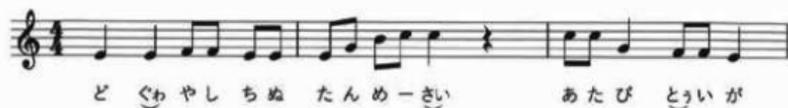
北<sup>きた</sup>谷<sup>たに</sup>屋<sup>や</sup>良<sup>ら</sup>村<sup>むら</sup> 伝<sup>でん</sup>道<sup>どう</sup>あ<sup>し</sup>や<sup>ぎ</sup>ー 伝<sup>でん</sup>道<sup>どう</sup>あ<sup>し</sup>や<sup>ぎ</sup>

ひ<sup>ー</sup>た<sup>ー</sup>一<sup>ち</sup>着<sup>ち</sup>や<sup>ー</sup>が 二<sup>たい</sup>人<sup>た</sup>立<sup>た</sup>つ<sup>ち</sup>よ<sup>ん</sup>

さ<sup>ー</sup>さ<sup>う</sup> う<sup>さ</sup>ぐ<sup>わ</sup>ん か<sup>ま</sup>ぐ<sup>わ</sup>ん く<sup>く</sup>り<sup>り</sup>よ か<sup>ま</sup>や<sup>し</sup>な<sup>ー</sup>

②⑥ <sup>どー</sup>堂ぐわー<sup>やしち</sup>屋敷ぬたんめー (照屋)

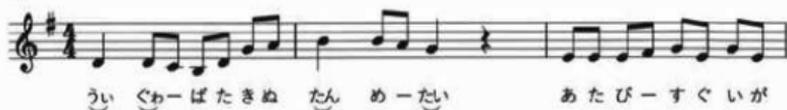
♩ 96



<sup>どー</sup>堂ぐわー<sup>やしち</sup>屋敷ぬ たんめーさい  
 あたびー<sup>とら</sup>捕いが めんそらに  
 芋<sup>うむ</sup>にー<sup>か</sup>食むくとう 待<sup>ま</sup>っちよーけー  
 いやーにん<sup>き</sup>呉ーくとう 待<sup>ま</sup>っちよーけー  
 待<sup>ま</sup>っちん<sup>ま</sup>待たらん 先<sup>さち</sup>ならやー

②⑦ <sup>ういー</sup> 上ぐわー <sup>ばたき</sup> 畑ぬたんめー (安慶田)

♩ = 96



<sup>ういー</sup> 上ぐわー <sup>ばたき</sup> 畑ぬ たんめーたい

あたびーすぐいが めんそーらに

<sup>うむ</sup> 芋にー <sup>か</sup> 食むくとう <sup>ま</sup> 待っちよーけー

<sup>ま</sup> 待たん <sup>ま</sup> 待たん

②⑧ あまからちゅーる<sup>ちゅ</sup>美らじゅりぐわー (照屋)

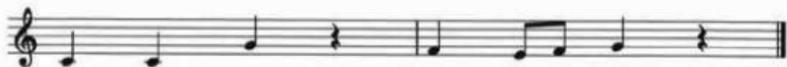
♩ = 100



あまからちゅる ちゅらじゅりぐわー しん だんぎ から け うていてい



よ じょ ひ じょ - するえ か こ ぐ ちんまが てい



ヒ ヤ ブ ヒ ヤー ブ

あまからちゅーる<sup>ちゅ</sup>美らじゅりぐわー

<sup>しんだんぎ</sup> 柄櫃木から <sup>う</sup> けー落ていてい

<sup>よーじょ</sup> 養生ひーじょーするえーかー

<sup>こーぐ</sup> 腰ちん<sup>ま</sup>曲がてい

ヒーヤーブー ヒーヤーブー

②⑨ おならの歌 (照屋)

♩ = 132



くぬくさびやたが ひっ ちやがや じぬわんぬみ わう わが



ひっちよんど

くぬ臭尻や 誰がひっちやがやー

宜野湾ぬ雌豚雄豚が ひっちよんどー

③⑩ 昔ぬ人よーふりむんやー (安慶田)

♩ = 120



んかしぬひっ ちよ ふりむんど うまがやし かしん



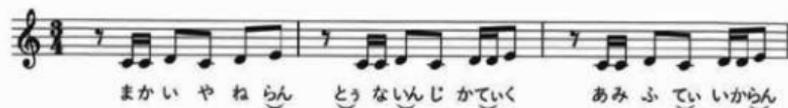
ゆみしかち しかちやぬゆ め うとよし しかち

昔ぬ人よーふりむんどー 孫やし かしさん 嫁し しかちー

しかちやぬ嫁ー 夫し しかち

③1 まかいやねーらん (安慶田)

♩ 92



<sup>まかい</sup>碗やねーらん <sup>とらい</sup>隣んじ借ていくー

<sup>あみふ</sup>雨降てい行からん <sup>かさ</sup>笠かんでい行け

<sup>かさ</sup>笠やねーらん <sup>とらい</sup>隣んじ借ていくわー

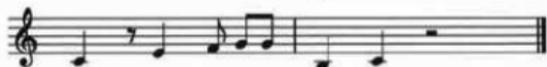
まじむんぬ<sup>た</sup>立っちゃん <sup>う</sup>怖じていならん

③② 与那原かみーが (照屋)

♩ 116



ゆなばるかみーが ちゆくたるたんむ あんしまさが



や いやんかいでんで

<sup>ゆなばる</sup>与那原かみーが <sup>ちゆく</sup>作たる<sup>たんむ</sup>田芋 あんしまーさがやー

いヤーん食でいんーでー

③③ 御願ぬひーらー (照屋)

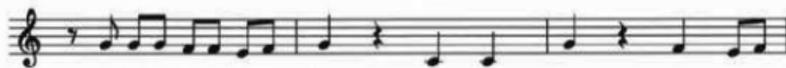
♩ 116



うぐわんぬひーらー ぶしたんめーまかいめんせが



ぶしたんめ はんしとうめいがーやしが



んらにわらびんちゃ ヒヤブ ヒヤー



ブ

<sup>うぐわん</sup>御願ぬひーらー <sup>ぶし</sup>武士たんめー <sup>まかいめんせが</sup> 武士たんめー

はんしー<sup>たん</sup>探めいがやしが見らに わらびんちゃー

ヒーヤーブー ヒーヤーブー

③④ 新築祝いの唱え (照屋)

<sup>とんち</sup>  
くぬ殿内えー

<sup>やー</sup> 四ちぬしんばい <sup>やー</sup> 八ちぬかなばい

いーとうどうみてい くんとうどうみてい

あしびタナゲー <sup>うど</sup> 踊らちもーらち

にしぬ<sup>うみ</sup>海ぬ グジラ わに さば なーうちャーうー

<sup>うね</sup> 鬼ー外 <sup>よか</sup> 福ー内 <sup>うち</sup> なーうちャーめーよー

## 安慶田・照屋のわらべ歌調査月日別成果表

(安慶田) 採集歌数: 13曲

番号	唱者ID	唱者名	生年	出身地	2002年 6月19日	計
1	1301	玉城フル	大正 9(1920)年		3	3
2	1302	久保田ハツ子	大正15(1926)年		3	3
3	1303	平良光彦	大正12(1923)年	石川市	5	5
4	1304	宮里通子	昭和 3(1928)年		3	3
5	1305	金武正市	昭和10(1935)年	与那城村	3	3
6	1306	山田安子	大正12(1923)年	沖縄市森根	5	5
7	1307	山城秀	大正12(1923)年	沖縄市白川	4	4
8	1308	大城節	昭和 2(1927)年	水納島	3	3
9	1309	比嘉キタ	大正 9(1920)年	沖縄市安慶田	3	3
10	1310	仲村梨静子	昭和 6(1931)年	沖縄市安慶田	3	3
11	1311	志慶真秀子	昭和10(1935)年	北谷町	3	3
12	1312	大城文子	昭和 4(1929)年	具志川市	3	3
13	1313	仲里登美子	大正11(1922)年	本部町	7	7
14	1314	比屋根善子	大正14(1925)年	沖縄市安慶田	6	6
15	1315	上間トミ	大正 4(1915)年	今帰仁村	3	3
16	1316	照屋ユキ子	昭和 8(1933)年	本部町	3	3
17	1317	崎原ヤス	大正10(1921)年	北谷町	3	3
18	1318	大城徳次郎	大正11(1922)年	本部町水納	3	3

※歌唱数について

この表は唱者それぞれの歌唱曲数を示しており、1つの歌を複数唱者が合唱している場合は唱者毎に1曲の歌唱として計数している。これによる重複のため、唱者毎の歌唱数の合計は採集歌数とは一致しない。

※出身地について

調査当時唱者から得た回答を、修正を加えずそのまま表記した。そのため、現行の市町村名や字名とは異なる地域名で記載されている場合がある。

(照屋) 採集歌数: 75曲

番号	唱者ID	唱者名	生年	出身地	1991年 1月28日	1991年 5月22日	1991年 5月27日	1991年 6月3日	2002年 6月7日	計
1	1601	船福ナベ	明治38(1905)年	沖縄市泊瀬	4		8	6		18
2	1602	瑞慶山千代	大正 6(1917)年	沖縄市倉敷	6			8	9	23
3	1603	米原ヒデ	大正元(1912)年	北谷村伝道	5	14				19
4	1604	志喜屋米	大正 3(1914)年	北谷	1					1
5	1605	安次頼主駆	明治44(1911)年	北谷村久得				9		9
6	1607	渡久地秀子	昭和 3(1928)年	今帰仁					1	1
7	1608	武富文子	大正14(1925)年	宮古					1	1
8	1609	渡久地政林	大正15(1926)年	今帰仁					1	1
9	1610	渡慶次トミ	昭和 2(1927)年	沖縄市泊瀬					1	1
10	1611	名嘉真トミ	大正11(1922)年	沖縄市古謝					4	4
11	1612	上江洲ハルエ	大正 8(1919)年	具志川市川田					3	3
12	1613	奥間安子	昭和 2(1927)年	沖縄市泊瀬					1	1
13	1614	新垣秀子	昭和 2(1927)年	西原村					2	2
14	1615	福里キミ子	昭和 6(1931)年	宮古					1	1
15	1616	上江洲ハル	昭和 2(1927)年	宮古					1	1
16	1617	与儀フル	明治45(1912)年	本部町古島					1	1
17	1618	比嘉芳子	大正15(1926)年	名護市大浦					1	1
18	1619	名直山文子	昭和 3(1928)年	国頭村直名真					1	1
19	1620	我高屋トメ	大正11(1922)年	今帰仁村謝名					1	1
20	1621	川満千代	昭和 3(1928)年	沖縄市照屋					1	1
21	1622	佐保敏子	大正 9(1920)年	本部町嘉陽					1	1

(宮里在住の照屋出身者) 採集歌数: 19曲

番号	唱者ID	唱者名	生年	出身地	1990年 11月19日	計
1	1502	我知古ウト	明治39(1906)年	沖縄市照屋	19	19

沖縄市文化財調査報告書第 50 集

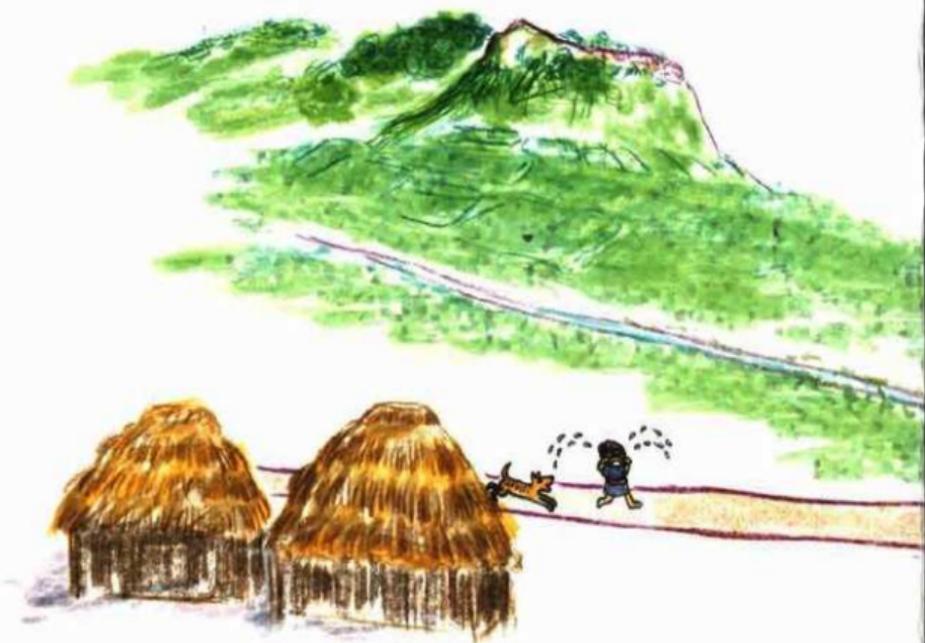
## 安慶田・照屋のわらべ歌

令和 3 年（2021）年 3 月 31 日発行

発 行 沖縄県沖縄市教育委員会

編 纂 沖縄市立郷土博物館  
〒904-0031  
沖縄県沖縄市上地 2-19-6  
TEL.098-932-6882

印 刷 (有) 曙 印 刷  
沖縄県沖縄市泡瀬 4-31-15  
TEL.098-938-7884



2021年3月  
沖縄県沖縄市教育委員会